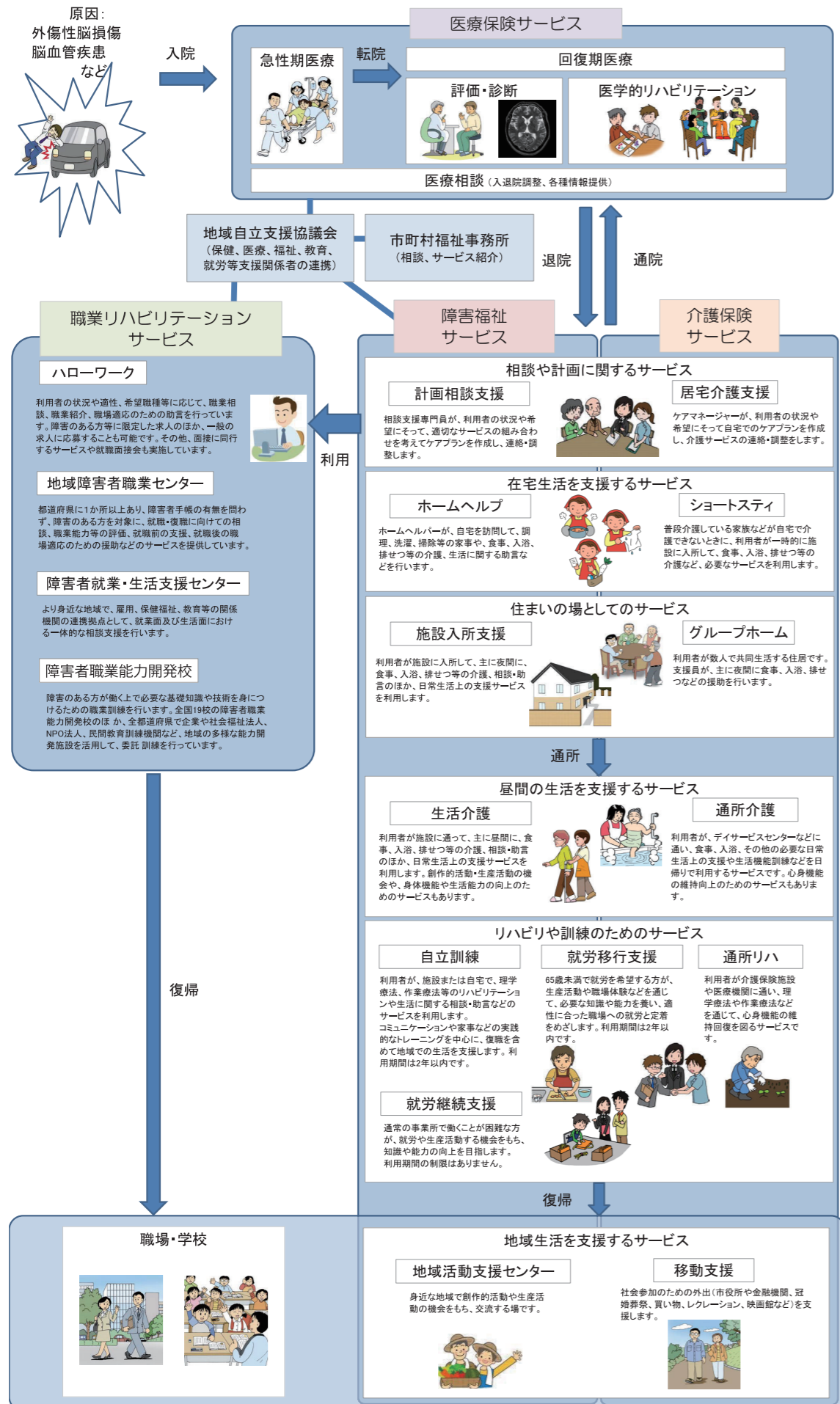


受傷・発症から社会参加までに関連するサービス

外傷性脳損傷や脳血管疾患などにより高次脳機能障害が残った場合に、地域生活に戻るまでには下の図のようなサービスがあります。



出典: 国立障害者リハビリテーションセンター/高次脳機能障害情報・支援センター

※地域における生活上で各種サービスの利用をご希望される場合は、お住いの地域の市町村へご相談ください。

鹿児島県

高次脳機能障害者 支援ガイド

— 見えにくい障害への理解と支援のために —

高次脳機能障害は、病気(脳血管疾患、脳症、脳炎など)や事故等によって脳が損傷されたために、認知機能に障害が起きた状態です。

記憶障害

- 物の置き場所を忘れる。
- 新しいできごとを覚えられない。
- 同じことを繰り返し質問する。

注意障害

- ぼんやりしていて、ミスが多い。
- 二つのことを同時に行くと混乱する。
- 作業を長く続けられない。

遂行機能障害

- 自分で計画を立ててもものごとを実行することができない。
- 人に指示してもらわないと何もできない。
- 約束の時間に間に合わない。

社会的行動障害

- 興奮する、暴力を振るう。
- 思い通りにならないと、大声を出す。
- 自己中心的になる。

高次脳機能障害は、外見からはわかりにくく、「見えにくい障害」という特徴を持っています。精神障害者保健福祉手帳や障害福祉に関するサービス等を受けることができる場合があります。地域の中で自分らしく生活できるように、今回は高次脳機能障害者支援協力病院の年齢別や回復状況に応じた対応一覧と相談窓口等をまとめました。

鹿児島県高次脳機能障害者支援センター (鹿児島県精神保健福祉センター)

